(公社)長崎県理学療法士協会 広報誌

ぴーかんてらす

P-can Terrace

発　行　公益社団法人　長崎県理学療法士協会
〒851-0116 長崎市東町1755番地1
E-mail: nptajimukyoku@gmail.com
発行責任者　大山　盛樹
編　集　西　啓太
印　刷　株式会社　インテックス

11
【通算128号】

PT
Physical Therapist

p2 ぴーかん特集1 ／

スポーツと理学療法士の関わり

Contents

p04 特集2
未来の球児たちの活躍を願って
「キッズベースボールフェスタ協力」
p07 健康テラス／インフルエンザを予防しよう
p08 災害時に役立つ理学療法士になるために
p10 啓発活動レポート「ながさき元気フェスタ」
p12 九州学会2020(in SASEBO)のご案内

ぴーかん特集

スポーツと理学療法士の関わり

なぜスポーツ……なぜ理学療法士……

2019年のラグビーワールドカップの『one team』がもたらした感動は記憶に新しく、2020年の東京オリンピック・パラリンピックを楽しみにしている方も多いと思います。

スポーツ基本法前文には、スポーツの他者を尊重する精神、公正さと規律を尊び実践的な思考力や判断力を育むなど人格形成に大きく影響を及ぼす。更に人や地域交流を促し、一体感や活力を地域社会にも寄与し、心身の健康の保持増進にも重要な役割を果たし、健康長寿社会の実現に不可欠なものである。その中で、安全かつ公正な環境下でスポーツを親しみ、楽しむこと、スポーツを支える活動に参画されることが確保されている必要性も記されています。

我たち理学療法士は、自分自身の健康や楽しみのためにスポーツを行いますが、職業としてケガの予防やリハビリテーションの場面でスポーツの「安全・安心」に関わることもある専門家でもあります。

長崎県理学療法士協会の取り組みの紹介

スポーツイベントを開催し県民の意識を増進する事業	スポーツセミナーを開催する事業	市町村や関連団体が行うイベントをサポートする事業
小学生ソフトボール大会の運営や、中学生バスケットボールイベントで競技力の向上や地域づくり、ケガの予防や対処法の指導など	スポーツ指導者や保護者を対象に様々な情報提供など	障がい者スポーツ大会、ねんりんピックなど市町が開催するイベントや、ラグビー協会、サッカー協会、高野連、中体連などの関連団体に協力してメディカルサポート活動など

障がい者スポーツにおける社会との結びつき（つなぎ役）

東京パラリンピックにより、メディアに触れることが多くなったパラ（障がい者）スポーツの分野においても理学療法士は活躍の場があります。

高齢化社会とともに医療制度は変わり、ひと昔前より入院期間は短縮されました。リハビリテーションの視点からみると「日常生活への復帰」がゴールというイメージを持たれている方もいるかもしれません。もちろん重要な理学療法士の仕事であり、専門職として最大限にお役に立てるよう対象者とともに努力しています。しかし、疾病の中にはどうしても活動制限が残存してしまう場合があります。障がい有していても、いうまでもなく個人の尊厳は守られるべきであります。今あるべき機能の中でできること、何が可能になれば更なる社会参加が目指せるかを考えながら理学療法士が生活とスポーツの両面から、社会とのつなぎ役になれるように専門的な知識を発揮していければと思います。

理学療法士は〝カラダ〟のプロフェッショナル

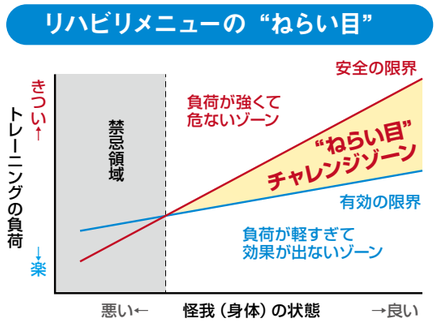
私たちは〝カラダ〟と〝怪我〟の専門家です。怪我をして低下した機能やパフォーマンスを、元通りにすることはもちろん、スポーツで起こった怪我や故障などの要因を分析して再発や新たな外傷を予防することも目標にします。スポーツ外傷の発生要因を、成長期や高齢などや性差、体形、体力や筋力、姿勢などの内的リスク要因、スポーツの特性やポジションなどを含め動きの質や量的問題、使用している用具、気候や路面状況などの環境面などの外的リスク要因から考えます（左図）。本人の特徴やスポーツの特性をよく考え、問題となる動作などを特定して、対処法を見つけ出します。怪我した状態から復活し、次に怪我をしにくい体力や動きを身につけるように段階的にトレーニングの負荷を増やして上げていきます。

障害・外傷の要因

❶内的リスク要因
- 年齢……成長期、加齢変化
- 健康状態、特性……先天性、関節弛緩性
- 体力……骨格など
  - 筋力、最大酸素摂取量、ROM
  - 身体組成……体脂肪、体型
  - 解剖学的要因……アライメント（姿勢）

❷外的リスク要因
- スポーツ（動作）特性……各種スポーツ特性、職種、仕事内容
- 外用品の使用……靴、装具、サポーター、足底板、スポーツ用具
- 環境面……気候、天候、路面状況、坂道、階段

スポーツ現場での経験などを講習会で伝える大石氏



理学療法士が怪我をしたスポーツ選手から聞き（知り）たいこと

1.怪我に関する情報
- ●いつ、どのように症状は発生したか?
- ●痛みの状態は?
  （安静・運動中・後）（ズキズキ～違和感）
- ●現在までの経過は?（我慢してプレー、応急処置）
- ●これまでに経験した怪我や違和感（不調）など
- ●スポーツ活動の変化
  （ポジション、メニュー、休み明け、会場の違い）

2.身体の特徴や状態について
- ●身長や体重の変化 ●筋力の強さ、身体の硬さ
- ●身のこなし、動きのフォーム
- ●患部の状態、全身的な体力の状態

“目標”は大切!

3.目標について
- ●いつ? ●どのレベル? ●優先順位など

4.環境・その他について
- ●指導者や保護者、チームメイトの理解 ●競技ルール
- ●トレーナーの存在 ●交代要員の存在
- ●用具、装具 ●テーピングの可能性
- ●ウォーミングアップやクールダウンのケアについて
- ●通院の頻度、期間について

さいごに……

スポーツの怪我は、我慢してプレーすることが美徳と考える方も少なくないかもしれません。その〝不調〟が、安全にスポーツ活動を継続できるかどうか、後に大きな怪我や後遺症を引き起こすことが無いかを考える必要があります。それには、我慢せず医療機関を受診し、自身の〝不調〟や〝目標〟を伝えてください。一緒に目標に向かって対策を考えてくれると思います。

是非、皆さまの周りの理学療法士に、〝カラダ〟と〝怪我〟について相談してみてください。色々な意見が聴けると思います。

編集協力
大石勝規氏（こころ医療福祉専門学校）
（公社）長崎県理学療法士協会　理事
認定理学療法士（スポーツ理学療法）
日本スポーツ協会公認アスレティックトレーナー
中級障がい者スポーツ指導員

高校野球200年構想イベント
「キッズベースボールフェスタ」での活動について

主催：長崎県高等学校野球連盟　　後援：朝日新聞社長崎総局、毎日新聞社長崎支局

①2019年10月13日（日）
長崎県営野球場　ビッグNスタジアム（長崎市松山町）
募集人数：120名（幼稚園・保育園年長～小学3年、野球経験問わず）
活動した理学療法士：7名

②2019年10月27日（日）
五島市中央公園野球場（五島市三尾野町）
募集人数：
午前の部100名（幼稚園・保育園年長～小学3年、野球経験問わず）
午後の部100名（小学校低学年～中学生、野球経験者）
活動した理学療法士：23名

このイベントは、高等学校野球連盟が少子化、野球離れが進むなか、次の100年を目指して朝日新聞、毎日新聞社とともに「高校野球200年構想」を掲げ企画された全国的な取り組みのようです。日本高野連の調査では、2018年度硬式の部員数は15万3184人で前年度比8389人減となり、1982年の調査開始以降で最大の減少数となったそうです。そこで普及、振興、けが予防、育成、基盤づくりの5つを目標に事業展開されています。

「けがの予防」に理学療法士と連携を…

その中の「けが予防」では整形外科医や理学療法士などと連携し、小学生から高校生を対象に肩肘の検診やけが予防のコンディショニングの指導を行うことが推奨されています。

長崎県内においても長崎県高野連が中心となり昨年度より開催されており、高校野球選手権大会のメディカルサポートで協力させていただいている関係で本会もこのイベントをサポートさせていただいております。

キッズベースボール

高校球児が指導やサポートをして、子ども達にストラックアウト、ティーバッティングなどを体験して野球の楽しさを味わってもらうイベント

コーディネーショントレーニングやストレッチ指導

理学療法士により、身体を動かす楽しさを体験することを一番の目的に、ウォーミングアップをすることを兼ねて、遊びの中でリズムトレーニングやバランスエクササイズなどストレッチなどを行う

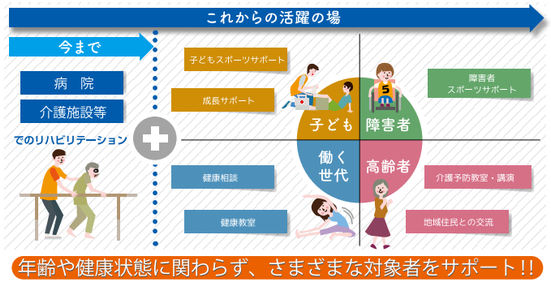
●しっぽ取りRun
高校生（大人）にしっぽを付けて、小学生が追いかけるゲーム
➡俊敏性、体力、あきらめない心を強くする意識した遊び

●宝集め
4チームに分かれて、真ん中に置いた7個のボールを取り合って、自陣に3つ集めると勝ち）
➡俊敏性とその場の判断力やチーム戦略（声掛け）を意識した遊び

●新聞乗りジャンケン
負けたほうが新聞紙を半分ずつ折っていくゲーム
➡バランスを意識した遊び

※楽しんで無理しないように行います!

「地域社会から求められる理学療法士」を育成しています。



学校法人　岩永学園
こころ医療福祉専門学校

▶理学療法科 長崎校　▶介護福祉科 長崎校 壱岐校
▶スポーツ柔整科 長崎校 佐世保校　▶スポーツ鍼灸科 長崎校

■長崎校
0120-100-770
〒850-0048 長崎県長崎市上銭座町11番8号

■佐世保校
0120-935-756
〒857-0051 長崎県佐世保市浜田町1番22号

■壱岐校
0920-43-8556
〒811-5544 長崎県壱岐市勝本町布気触818番地68

【五島のみ】午後の部

野球肘検診&投球動作指導（13時～15時）

野球をしている小学生や中学生を対象に医師による超音波による野球肘検診、社会人野球経験者によるケガをしないための投球動作指導を受けるイベント。

怪我をしない投球動作指導や野球教室

●社会人野球経験者による怪我をしにくい効率的な投球動作の指導

●パフォーマンス向上のためのポジション別の身体の使い方などの指導

※理学療法士も協働してウォーミングアップの指導や動作の指導

野球教室を担当する『On-deck』の紹介

重工長崎野球部OBが発足した団体であり、スポーツと医療、スポーツとテクノロジーの分野で貢献できるよう活動している。週1回の野球スクールを開催し、技術と人間力を準備していく団体。障害予防にも力を入れており、理学療法士と協力して野球肘検診と投球動作指導を行っている。1年前から上記活動を精力的に行っており、高野連とのタイアップにつながった。

野球肘検診

理学療法士は、身体チェックや投球障害（野球肘など）に関する、予防や対策などを医学的な視点から指導、コンディショニングや怪我をしにくい投球動作のためのストレッチを指導

身体チェック

チェック項目：股関節や肩関節、肘関節の柔軟性の評価（角度計を用いた測定）

ストレッチ指導：投球動作は全身の動きが連動したパフォーマンスであり、下肢の機能低下（硬さや弱さ）、骨盤や体幹のキレ、肩甲骨や腕の細かな動きの不均衡により怪我や故障を発生する。そのため、効果的な股関節、体幹のストレッチや、ウォーミングアップで行いたい肩甲帯のエクササイズを指導しました。

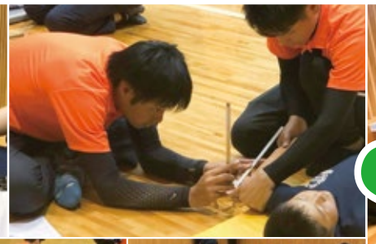
編集協力

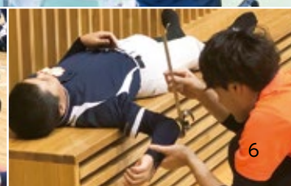
健康増進班

樋口隆志氏（こころ医療福祉専門学校）

濱田孝喜氏（貞松病院）

森川明典氏（山口整形外科医院）





健康テラス

インフルエンザを予防しよう！

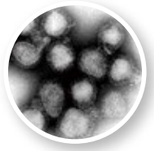
やっと本格的な寒さも緩んでまいりましたね。冬にはクリスマスや正月など様々なイベントがありましたが、感染症においても冬の三大感染症と言われるノロウイルス、インフルエンザ、RSウイルスが流行する季節です。特にインフルエンザは学校や職場でも集団感染を起こす感染症として有名です。まだまだ油断せず、インフルエンザなど感染症をしっかり予防し、良い新年度を迎えましょう！

インフルエンザの基本

インフルエンザウイルスによるウイルス感染でA型、B型、C型に分類されます。

特に大流行するのがA型（A（H1N1）亜型、A（H3N2）亜型（※香港型とも言われる））、B型です。

潜伏期間は1～3日であり38℃前後の高熱、全身倦怠感、頭痛、関節痛、筋肉痛などの**全身症状**また、咳、痰、鼻汁などの**呼吸器症状**が強く出現します。合併症を発症しない限り予後は良好で1週間程度で治癒します。



インフルエンザに感染すると……

感染 約1～3日 → 発症 約1～3日 → 約1週間 → 軽快

●38℃前後の高熱	●咳
●関節痛、筋肉痛、頭痛	●喉の痛み
●全身倦怠感、食欲不振	●鼻水
などの**全身症状**	などの**呼吸器症状**

重症化することが多い合併症

インフルエンザは合併症により重症化し死に至ることもある怖い病気です。

- 成　人・気管支炎・肺炎
- 小　児・中耳炎・熱性けいれん・急性脳症
- その他・高齢・呼吸器や心臓の慢性疾患

予　防

合併症を起こさないためにもインフルエンザに罹患しないことが一番です。

予防方法を知っておきましょう！

❶流行前のワクチン接種

『13歳以上は1回、13歳未満は2回』で高い抗体価の上昇が得られると報告されています。

☆インフルエンザワクチンは「発病の予防」よりも「重症化の予防」効果が高い!!

❷外出後の手洗い（右図）

❸適度な湿度の保持

インフルエンザウイルスは寒冷乾燥を好み、高温多湿に弱いとされており

『温度20℃以上、湿度50～60%で空気中の感染力が下がる』ことが報告されています。

意識した温度・湿度管理を行ってみてください。

（東京都健康安全研究センター資料から）

❹十分な休養とバランスのとれた栄養摂取

抵抗力が落ちると感染しやすくなります。体の抵抗力を高めるために十分な休養とバランスのとれた栄養摂取を心がけましょう。

❺人混みや繁華街への外出を控える

人混みが避けられない場合は必ずマスクを着用し、外出後は手洗い、うがいを徹底しましょう。

インフルエンザと運動の関係　「45分のウォーキングをして免疫を高めよう!!」

米国ではインフルエンザと運動の関係を述べた研究が報告されています。

●1日45分のウォーキングを週5日続けることで、ウイルスや細菌を撃退するナチュラルキラー細胞の循環を高め、体の免疫システムを向上させる効果がある。

●45分のウォーキングを週5回、12～15週間行った人では、風邪やインフルエンザなどの感染症にかかりにくく、運動をしている人では、しなかった人に比べ罹病日数が25～50%少なく、病気による欠勤も半分になった。

災害リハビリテーション支援

長崎を守っていかんばたい!!

災害リハビリテーション推進委員会を創設しました

近年、我が国では豪雨や地震などにより、毎年のように全国各地で災害が発生しています。長崎においてもいつ大規模災害が起こるかわからないのが現状ですが、本協会に至っては、未だ「長崎J・RAT（大規模災害リハビリテーション支援関連団体協議会）」の指示を待機しているに過ぎない状況です。私たちの組織は県民の支援も必要ではありますが、まずは会員を守り、事務局を守ることが県民支援になると考え、本協会内に災害リハビリテーション推進委員会を創設し、これまでの大規模災害でのJ・RATへの参画を円滑に進めるための課題を導く会議や、関連団体の組織化や対応力強化の一環として研修会等々の事業を進め、人材を育成しながら寄与していきたいと考えています。

災害時に私たちにできること・すべきこと

避難所での生活や健康を守る

避難所での生活は、災害による混乱や不慣れな環境により、それまでの生活とは全く違うものとなってしまいます。特に高齢者や体に不自由のある方にとっては、動きづらく・転倒や生活不活発病などのリスクを生じます。これらを予防・解消するために発災早期よりリハビリテーションチームとして関わり、現地の管理者や保健師等と協力して避難された方々の安全で健康的な生活を支援します。

災害のフェーズに合わせたリハビリテーション支援

（災害に関連した身体機能、生活能力の低下予防）

応急修復期	復旧期	復興期
リハビリテーショントリアージ	生活不活発病予防	健康支援

災害後の時間経過にみるリハビリテーションの役割

応急・修復期

生活を守る

避難所の住環境を安全に･動きやすいように整える（危険箇所のチェックや修正など）

必要な物資を提案し作成･手配･設置する（ダンボールベッド･簡易トイレなど）

動き方や過ごし方のアドバイスや指導･練習をする

〉

復旧期

健康を守る

生活不活発病（深部静脈血栓症、身体･認知機能低下など）の予防活動

集団体操の実施やレクレーションの提供

〉

復興期

地域の役割を守る

地域の団体へ活動を任せていく

現場の活動を守る

災害時の避難所には、避難者のみでなく各地からのボランティアや支援団体など多くの人や物資が次々に押し寄せ、状況も刻々と変化していきます。そんな混乱の中では、必要な物資や人材を適切な場所に送り、適切な支援を提供し続けるということは困難です。さらに、避難所は1箇所ではなく被災地域に何箇所も設置されますので、同様の問題が同時多発的に発生することとなります。被災地域全体の情報を統括し、時間経過と共に変化する状況に対応し運営していくことで現場の活動を支援します。現場の活動を整理･支援することが、適切な支援を必要な箇所に提供することを可能にすると考えています。

熊本地震での活動を参考に、今出来る準備をはじめています！

長崎県内の災害時対応も平時より準備しておく必要があると考え、第1回目の研修会を作業療法士会言語聴覚士会、長崎県リハビリテーション支援センター、長崎J-RATとの5団体合同で実施しました。講師には、＊REHUGの発案者で熊本JRATとしても実際に災害現場での活動を経験していらっしゃる 佐藤 亮 氏をお招きし、REHUGを用いた実践的な演習を行うことで、災害リハビリテーションの基礎知識や考え方を学び、災害時にそれぞれの地域で被災者の方々への支援に役立つ助言や連携をとることのできる人材育成の第一歩を踏み出しました。

研修においては、運営本部として現場からの連絡に対応している最中、トラブル･クレームの相談や関連団体の受け入れ･支援要請、各種記録や行政などへの報告を行うなど、処理する情報の多さと頻回さに追われっぱなしで、研修終了時には皆へとへとでしたが達成感と一体感が感じられました。

＊REHUG：大規模災害リハビリテーション支援チーム本部運営ゲーム
平成28年の熊本地震におけるJRATの本部運営を疑似体験するためのシミュレーションカードゲーム。他県からの支援チームの受け入れや、避難所での対応とそれに伴う記録･電話連絡など、時間経過とともに生じる様々なイベントに対してそれぞれが自身の役割のもと臨機応変に対応していく。

今後とも、平時から災害リハビリテーションの重要性に関する教育･啓発そして人材育成及び他の災害支援団体との強固な連携構築が推進されていくよう努力していきたいと思います。皆様の大いなるご協力･ご支援そしてご指導の程よろしくお願い致します。

長崎県理学療法士協会災害リハ推進委員長
永木照彦理事（おおさと整形外科）

<主な講演・プログラム>

特別講演
『理学療法のスキルアップとスキルチェンジ』
～運動器不活動症候群のメカニズムとその治療戦略～
沖田 実 氏（長崎大学生命医科学域保健学系 教授）

シンポジウム
『臨床実習のスキルチェンジ』
～協会･養成校･臨床の立場から～
大工谷 新一 氏（日本理学療法士協会 常務理事）
神津 玲 氏（長崎大学生命医科学域保健学系 教授）
長福 武志 氏（熊本セントラル病院）

県民公開講座
『 知ってほしい!スポーツにおけるケガや故障の予防と理学療法（仮）』
～ 国民の健康にスポーツと理学療法士が寄与できること～
小林 寛和 氏（日本福祉大学 健康科学部リハビリテーション学科 教授）

教育セミナー
運動器 『動的安定化機構からみた肩峰下 impingement 徴候』
西川 仁史 氏（甲南女子大学看護リハビリテーション学部 准教授）
神経系 『先端的脳画像解析から得られる情報と臨床への展開』
玉利 誠 氏（国際医療福祉大学大学院医療福祉学研究科 准教授）
地域 『介護予防のエビデンスとこれから（仮）』
井口 茂 氏（長崎大学生命医科学域保健学系 教授）
循環器 『心機能障害理学療法の今（仮）』
高橋 哲也 氏（順天堂大学保健医療学部理学療法学科 教授）

大会ホームページアドレス
https://kyusyu-society-pt.net

一般演題 口述80演題、ポスター180演題 計260演題（予定）

今年もやります!

「ながさき元気フェスタ」協力!!

昨年度も、「県民健康まつり」と題して開催された2日間にわたるイベントに今年も本会が協力しました。

昨年と場所を同じくして、県立総合体育館で11月16日（土）～17日（日）に開催されました。今年は、KTNテレビ長崎の主催によるバックアップもあり、昨年に劣らず盛大に行われました。チラシやテレビ広告の影響もあり、子ども連れの家族の参加も多く、健康に関心のある一般の方もたくさん来場していました。

私たち理学療法士協会のブースも、チラシ内に宣伝いただいたこともあり（当日も独自で作成したチラシを会場で配りました！）、2日間で200名ほどにお立ち寄りいただきました。

編集協力
啓発事業班　有福浩二氏
（重工記念長崎病院）写真右下

チラシにも
バッチリ宣伝
してもらいました!

理学療法士協会ブースの内容

各種測定
口コモチェック（ロコモ25・立ち上がり・2ステップテスト）
握力測定、立ち幅跳び測定、体組成計測

計測後に結果を〝個別〟にフィードバック、相談等を行った。

リーフレットや理学療法士ガイドの配布、転倒予防等のチラシの配布。理学療法士の仕事の紹介動画の放映。

今年は、希望者には各種体力測定に併せて、体組成計測を実施し体脂肪率や筋肉量など簡単なデータから、ご本人の年齢や活動量に合った相談などを行いました。参加者の皆さまは自身の体力レベルや体形など大変興味を持って聞いていただきました。子どもや若い方も多かったため立ち幅跳びの測定も用意して、親子で競い合うように（お父さんの良いところが見せれるように??……笑）盛り上がっていました!

今後も、各地でこのような市町のイベントに協力させていただきます。その地域や参加者の要望に沿えるよう活動してまいりたいと思いますので、イベント会場で「ながさき県理学療法士協会」「オレンジ色」をお見かけしたときは、宜しくお願いします!

場所を同じくして

1日目の午前中には、本会会長も参加した「健康長寿日本一長崎県民会議」が開催されました。本会議の会長は、県知事の中村法道氏が務め、健康長寿日本一の長崎県づくりに向け、県民一人ひとりが主体的に健康づくりに取り組むことを、多くの関係団体が連携して支援し、県民運動として展開するために設置されているようです。冒頭の挨拶の中で、人生100年時代の到来を控え、県民の皆様が健康でいつまでも生き甲斐を持って活躍してもらうことが重要だ。（一部省略）」との主催者メッセージがありました。その中で、『ながさき3MYチャレンジ』すなわち『毎年1回健診を受け、毎日二コニコ九千歩、毎日三回野菜を食べて、ヨーシみんなで健康長寿!』の県民運動に取り組んでいることを紹介されました。ご興味のある方は、『ながさき3MYチャレンジ』で検索すると県庁ホームページからリーフレットなど閲覧できます。

長崎県理学療法士協会も、県民の健康のために更に力を尽くしたいと思います。今後とも本会の活動にもご協力を宜しくお願い致します。

編集後記

今年は…

東京オリンピック・パラリンピックが開催される2020年が遂にやってきました!ぴーかんてらすも時流に乗って、『スポーツ特集』です。スポーツの価値、それを支える理学療法士の存在が伝われば嬉しいです。本会も今回紹介するキッズベースボースフェスタのほか、たくさんの事業にも協力しています。是非、お近くの理学療法士を頼ってください!

そして、本会行事のトピックスは、なんといっても九州学会の開催県となっていることです。大会長を先頭に準備委員会が、良い学会となり、理学療法士の研鑽、交流の場となるよう「One Team」で取り組んでいます!

2020年は、とても楽しみです!!

読者のみなさま
「ぴーかんてらす」へ情報を
お寄せください!!

「理学療法士協会 広報誌」リニューアルに伴い、理学療法士や市民のみなさまに向けたコーナーも充実させていきたいと考えています。
◎日常のうれしいできごと
◎日頃取り組んでいるリハビリにまつわること
◎私の○○自慢
…など、皆様からのさまざまなお便りをドシドシお寄せ下さい!!

お便りの送り先　〒851-0116　長崎県長崎市東町1755番地1
長崎県理学療法士協会事務局広報部宛　FAX／095-895-5146　メール／nptakouhou@gmail.com

ぴーかんてらすは、デジタルブックでもご覧になれます!
パソコンからのアクセス　ぴーかんてらす　理学　検索
http://www.nagasaki-ebooks.jp/
●nagasaki e-booksのサイトの右上の検索窓に「ぴーかんてらす」と入力するとデジタルブックページにジャンプします!
●携帯・スマートフォンからのアクセスは、右のQRコードから!!

誰かの「生きる」をささえるひとになる。
PT 理学療法学科一部（昼間部）
PT 理学療法学科二部（準位制夜間部）
ST 言語療法学科
OT 作業療法学科
学校法人向陽学園
長崎リハビリテーション学院
長崎リハ学院　検索
〒856-0048　長崎県大村市赤佐古町42番地　TEL.0957-53-7883 ／ FAX.0957-54-6882
学院キャラクター　はぴリス

九州理学療法士学術大会 2020 in SASEBO

開催 2020年10月17日・18日
会場 アルカスSASEBO

テーマ

理学療法のEPDCA
～評価と科学的根拠 そしてマネジメント～

大会長 大山 盛樹
（長崎県理学療法士協会会長、柿添病院付属中野診療所）

春寒の気候にあります。皆様におかれましては益々、ご健勝のこととご拝察いたします。

平素より、長崎県理学療法士協会の広報紙「ぴーかんてらす」をご覧いただき誠にありがとうございます。

この度、本協会の担当により「九州理学療法士学術大会」を開催する運びとなりましたことを、この紙面においても皆様に報告をさせていただくとともに、ご案内申し上げます。

この学術大会は令和2年10月17日・18日（土・日）の2日間、佐世保市のアルカスSASEBOにおいて、260演題（予定）の口述・ポスター発表と「理学療法のEPDCA－評価・科学的根拠そしてマネジメント」をテーマに講演、セミナー、シンポジウム、県民公開講座、機器展示などを企画しております。

「EPDCA」の「E」には私達理学療法士に最も重要となる「Evaluation（評価）」と「Evidence（科学的根拠）」の意味を表しています。この「E」をもって、治療のPDCAのそれぞれをマネジメント（≒やりくり）することをすべての企画に盛り込んでいます。

県民公開講座（参加無料）では「TOKYOオリンピック・パラリンピック2020」の興奮が冷めやらない時期にこそ、この一大イベントに所縁ある日本福祉大学健康科学部リハビリテーション学科の小林寛和（こばやしひろかず）教授に「知ってほしい!スポーツにおけるケガや故障の予防と理学療法～国民の健康にスポーツと理学療法士が寄与できること～」と題して、ご講演をいただきます。市民が自由に集う交流スクエアでは「健康・リハビリ・介護など」の最新機器を展示いたします。

期間中は1000名を超える来場者を予測しており、一日目の夜には交流レセプションも企画いたしております。賑やかな夜も楽しむとともに、観光や食事・お土産をも楽しめる2日間になって欲しいと、ご期待申し上げます。

長崎SASEBOの地で行う学術大会が県民の皆様にとっても私達理学療法士にとっても歴史を刻む有意義な大会となり、九州のみならず全国に発信し、ひいては長崎県に貢献しうるイベントにしたいと願っております。

たくさんの皆様のご参加を会員ならびに関係者一同、心よりお待ちしております。

ホームページから詳しい大会の内容をご覧いただけます

九州理学療法士学術大会 2020

https://kyusyu-society-pt.net/
右のQRコードからもご覧いなれます

「佐世保バーガーボーイ」・「させぼのボコちゃん」／
© やなせたかし・SASEBO